

明日への 農業づくり

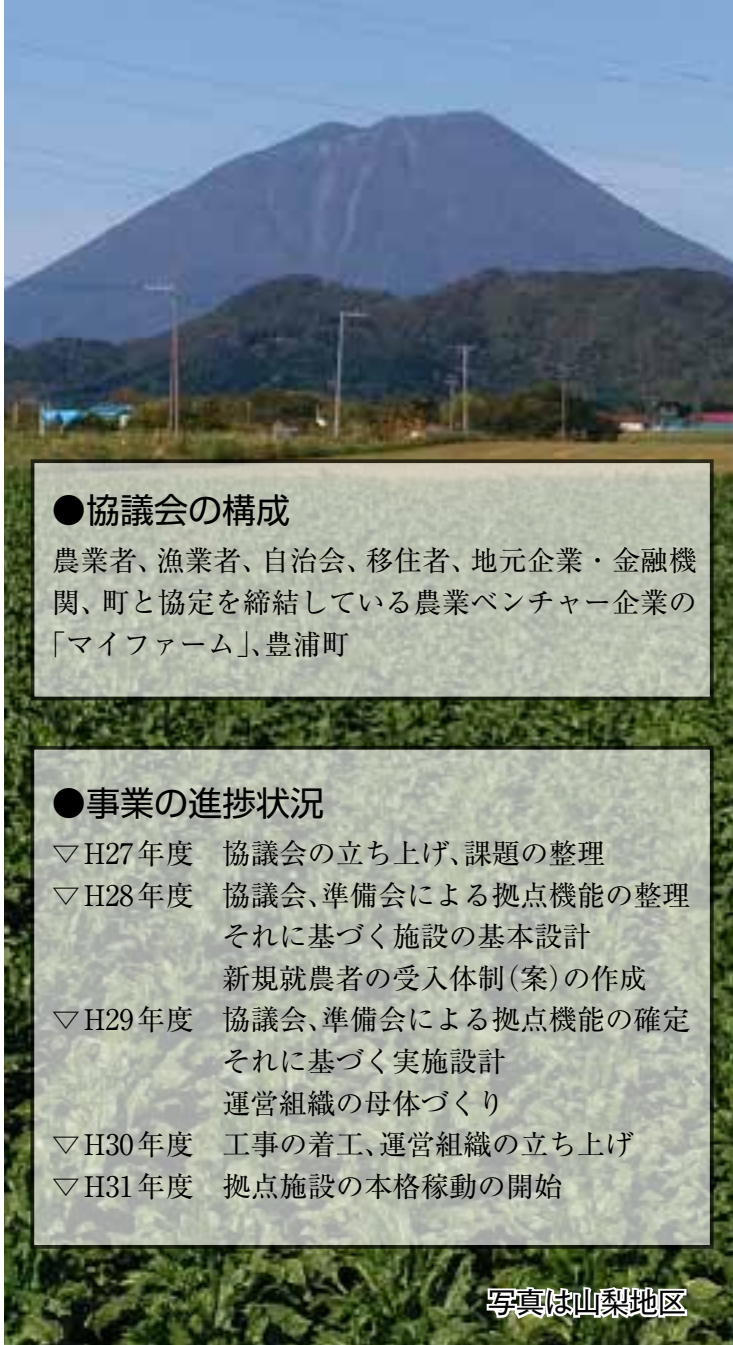
●地域産業連携拠点事業とは？

平成27年に実施した農業者アンケート調査では、「5年後には農業者が25%減少する」という結果に現れているとおり、高齢化・後継者不足が進み、今後の担い手不足が深刻化しています。

豊浦町の基幹産業は、第一次産業。これまで農業をしてきた人も、これから農業を始める人も、みんなが豊浦町で活躍できる環境基盤整備が必要です。

そのために、新しい産業の創出に向けたひとづくり・地域組織づくりを協議会を立ち上げ、地方創生関係交付金事業を活用して取り組みを進めてきました。

平成30年度は、旧大岸小学校鉦山分校の改修工事を開始しています。旧分校は、新規就農者の研修施設のほかに、就農希望者や移住希望者の農業体験を受け入れる宿泊ゾーン、農産物を加工するゾーンを設けます。敷地内には、研修用のハウスを当初段階で6棟設置します。



●協議会の構成

農業者、漁業者、自治会、移住者、地元企業・金融機関、町と協定を締結している農業ベンチャー企業の「マイファーム」、豊浦町

●事業の進捗状況

- ▽H27年度 協議会の立ち上げ、課題の整理
- ▽H28年度 協議会、準備会による拠点機能の整理
それに基づく施設の基本設計
新規就農者の受入体制(案)の作成
- ▽H29年度 協議会、準備会による拠点機能の確定
それに基づく実施設計
運営組織の母体づくり
- ▽H30年度 工事の着工、運営組織の立ち上げ
- ▽H31年度 拠点施設の本格稼働の開始

写真は山梨地区



地域産業連携拠点施設（イメージ図）

本事業の取り組みをPRするために、ホームページを作成し、新規就農者・指導農業者の紹介や研修制度についてお知らせをしていきますので、ぜひホームページをご覧ください。

【ホームページURL】

<https://toyoura-agri.com/>

☎ 地方創生推進室
地方創生推進係
☎ 83-1422